

はばだけ！
JTサンダース

堀田晋一郎

優勝を狙う上で絶対に負けられない戦いだった。サンダースは東京・大田区総合体育館であった、ファイナル6最終週となる堺と豊田合成の連戦に連勝。見事に30、31日にあるファイナル3へと駒を進めた。

パナソニック戦の敗戦から心機一転、自分たちもこの緊張感を楽しめるよう、また来場していただいた皆さまにもサンダースの試合を楽しんでもらおうと、十分な準備と緻密な戦術を駆使し、勝利につなげた。

ファイナル3の対戦相手は東レに決まった。今週末は川崎市とどろき

強い思い持ち佳境へ



アリーナでファイナル出場を懸けた戦いだ。この戦いもやるべき準備は変わらない。いよいよシーズンも佳境。最後にコートに立つのは自分たちだとの強い思いを持ってこの一戦に臨む。

さて、季節は春を迎え、チームは引き続き次の戦いの準備に励んでいるところではあるが、われわれがバレーボールに集中できる環境を整えてくれるエキスパート集団、バレーボール事務局から2人が卒業された。

サンダースが初優勝した時に部長を務められていた横山尚さんと事務局長としてメンバーを引っ張り、まとめ上げてきた新川義雄さんである。ともにプロ意識の塊である。バレーボール事務局のメンバーがスポットライトを浴びることはない。

しかし、われわれは24時間体制で、実は当たり前ではないことが、いつしか当たり前と感ぜられるような錯覚に陥るほど、きめ細かいサポートを受けている。メンバーを突き動かしているものは紛れもなく「サンダース愛」だ。

勝負どころでスパイクを決めて喜ぶエドガー選手(右)と深津選手

2人に尊敬の念を抱きつつ、事務局メンバーの支援を胸に刻み、現役として最高の成果を獲得することで輝かしい伝統を引き継いでいきたい。もちろん、皆さまのご声援が一番のチームの活力になることは言うまでもない！
(JTマネジャー)